

令和8(2026)年度以降の航空宇宙産業振興の方向性について

県内航空宇宙産業の現状と課題

- 製造品出荷額については、コロナ禍を契機として大幅に減少。徐々に回復軌道に乗りつつあるも、水準はコロナ禍前の半分以下にとどまる。
- 従業員数についても、同様にコロナ禍で大幅減。人手による作業工程も多い航空宇宙産業特有の事情も相まって、人材不足が業況回復を妨げる要因の1つにもなっている。

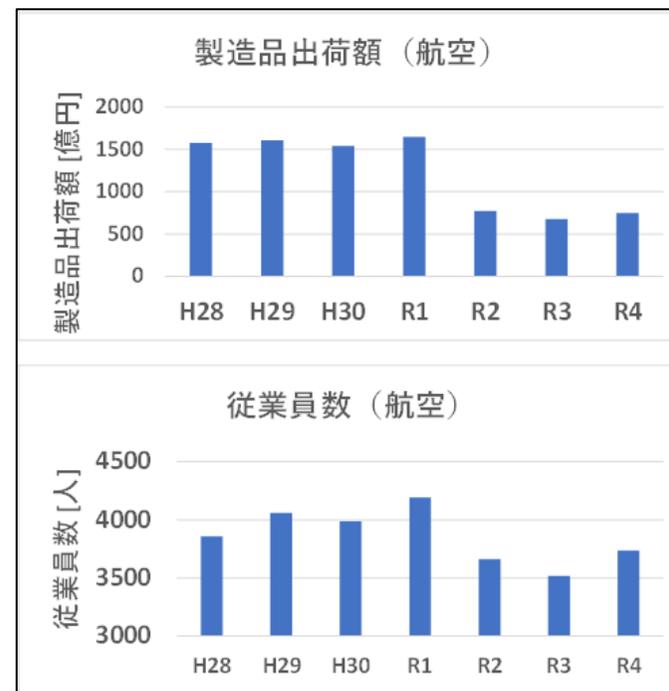
航空機関連製造品出荷額等			航空機関連事業所数			航空機関連従業員数		
全国順位	都道府県名	製造品出荷額等 (単位:億円)	全国順位	都道府県名	事業所数 (単位:事業所)	全国順位	都道府県名	従業者数 (単位:人)
1	東京都	4,283	1	愛知県	69	1	愛知県	9,882
2	愛知県	2,911	2	岐阜県	54	2	岐阜県	6,529
3	岐阜県	2,543	3	栃木県	28	3	兵庫県	3,750
4	福島県	1,516	3	東京都	28	4	栃木県	3,517
5	兵庫県	1,444	5	兵庫県	26	5	東京都	2,811
6位	栃木県							

(出典) 令和3年6月実施経済センサス ※秘匿値を除く

(出典) 令和4年経済構造実態調査 製造業事業所調査 (地域別統計表データ)

(出典) 令和4年経済構造実態調査 製造業事業所調査 (地域別統計表データ)

出典: 経済産業省資料



出典: 「経済構造実態調査」「工業統計調査」

アンケート結果から見える課題

- 人材の不足は深刻であり、確保のための支援が急務。
- 設備投資に対する支援ニーズが高い。

令和8(2026)年度以降の航空宇宙産業振興の方向性について

県内航空宇宙産業の5年後に目指す姿

- ◆ 世界中長期的に拡大していく航空機需要の着実な取り込み
- ◆ 世界的に急成長していく宇宙産業の本県での裾野拡大

目標に向けた事業の方針

- (1) 航空機関連企業の安定的な人材確保・育成支援
- (2) 航空機産業における生産性・開発力の向上に向けた支援
- (3) 宇宙産業への新規参入・ビジネスモデル構築支援

支援の方向性

- (1) 航空機関連企業の安定的な人材確保・育成支援
 - ・ 学生への企業PR機会の設定
 - ・ 「栃木県航空宇宙産業次世代人材育成プログラム」の見直し
- (2) 航空機産業における生産性・開発力の向上に向けた支援
 - ・ 自動化・省人化及びデジタル技術の活用等に向けた支援
 - ・ 新規市場に対応できるような開発力の向上に向けた支援
- (3) 宇宙産業への新規参入・ビジネスモデル構築支援
 - ・ 新規参入を促すとともに、稼ぐビジネスモデルの確立に向けた支援

令和8(2026)年度以降の航空宇宙産業振興の方向性について

(1) 人材確保・育成支援

◇ 現在までの県支援事業

□ 企業概要説明会(～R7)

新卒者採用の円滑化に向け、大学等と連携し企業概要説明会を開催(宇都宮大、帝京大等)

□ とちぎ航空宇宙産業 企業見学会(R7新)

県内の工業系高校2年生を対象に、航空宇宙産業産業に携わる企業を紹介するイベントを開催

【企業訪問】(株)SUBARU、(株)三洋製作所 【ブース出展】8社(アークテック(株)、ウエサワワークス(株)等)

□ 「栃木県航空宇宙産業人材育成プログラム」(H29～) ※H31・R4 改訂

本県航空宇宙関連企業の発展に必要な人材育成の指針として策定

◇ 既存事業の課題等

✓ ものづくり県として本県が持続的に成長していくためには、産業分野の垣根を越えて、**広くものづくり産業の人材確保を支援**することが必要

✓ 人材育成プログラムについては、定期的な見直しにより常に時流に沿った内容とすることが必要

◇ 来年度以降の事業案

□ 学生を中心とした若者を対象に、**本県のものづくり企業の魅力を発信**

(例) 戦略3産業等に携わる企業への見学や、ブース形式での企業と学生の交流

□ 人材育成プログラムについては、**最新の業界動向や本県の実情等に即して、内容をアップデート**

⇒ 詳細は、栃木県航空宇宙産業人材育成関係機関連絡調整会議にて議論

令和8(2026)年度以降の航空宇宙産業振興の方向性について

(2)生産性・開発力向上支援

◇現在までの県支援事業

生産性向上のための支援策

□ 特定重要物資関連サプライチェーン強靱化支援補助金

【補助上限】1,000万円 【補助率】中小1/2以内、中堅1/3以内

※「特定重要物資」: 工作機械・産業用ロボット、航空機の部品、半導体、蓄電池等が政令で指定

□ スマートファクトリー実証モデル事業補助金

【補助上限】1,000万円(革新的AIモデル枠)、500万円(一般モデル枠) 【補助率】: 1/2以内

□ スマートファクトリー伴走支援事業

□ 現場改善講師派遣事業

◇既存事業の課題等

- ✓ コロナ禍から回復・再成長のフェーズにある航空機産業の高レート生産に対応するためには、自動化・省人化及びデジタル技術の活用等により生産性向上を図り、サプライチェーンを強靱化することが必要
- ✓ 成長・拡大する新規市場に対応できるような開発力の向上を促すことが必要

◇来年度以降の事業案

- ロボットやデジタル技術等の活用によるスマートファクトリー化の推進を支援
- 生産性向上に向けた現場改善人材の育成や設備導入を支援
- 新規市場に対応するための開発力向上を支援

令和8(2026)年度以降の航空宇宙産業振興の方向性について

(3)宇宙産業支援

◇現在までの県支援事業

- **とちぎスペース・イノベーション事業(R7～)** ※前身:宇宙産業参入支援事業(R5～)
宇宙産業参入への機運醸成に向けた講演会や見学会、アイデアソン等を開催

◇既存事業の課題等

- ✓ 宇宙産業へ参入する企業を増やすためには、**機運醸成の取組を継続し、全体の底上げを図ることが必要**
- ✓ 特に参入済み又は参入意欲の高い企業に対しては、**よりスピード感を持った支援**が求められ、当該企業の**ニーズに応じた伴走型での支援**が必要
- ✓ **本県が宇宙産業の有力県であることを県内外に広くアピール**し、県外企業との関係構築・呼び込みを図るとともに、県民の理解を得て全県的な取組としていくことが必要

◇来年度以降の事業案

- 宇宙産業で必要となる**技術等を学ぶセミナーや見学会等の開催による機運醸成支援**
- 本県の特性を活かした宇宙ビジネスモデルの実現に向け、**企業同士で検討を行う研究活動等の実施による定着支援**
- 参入済み又は参入意欲の高い企業の**ニーズに応じた伴走支援**
- **県内外向け宇宙産業普及啓発の実施**